

福祉・介護職員処遇改善加算に係る情報公開（見える化要件）について

見える化要件とは、福祉・介護職員処遇改善加算の取得状況や賃金改善以外の処遇改善に関する取り組み内容を外部から見える形で公表することです。要件に基づき、下記の通り公表いたします。

【加算の取得状況】

- ・福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅱ）【令和8年4月～5月】
- ・福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅱ）ロ【令和8年6月～令和9年3月】

【賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容（職場環境等要件）】

区分	職場環境要件	事業所での取組
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	毎月の会議での読み合わせ。また事業所内に法人理念、運営方針等を、明示している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	令和7年度には教育現場からの正社員採用あり。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対しては、研修費用等を法人で負担している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動によるキャリアサポート制度等の導入	研修については年間計画に基づき実施し、受講内容は職員間で共有することで、日々の支援に活かしている。また、職員の成長を見える化するためにキャリア段位を設定し、その達成度や研修受講状況、日々の支援状況を踏まえて年1回の人事評価を行っている。評価結果は昇給や手当等に反映し、実践力に応じた評価を行っている。さらに、定期的な面談を通じて職員のキャリア形成を支援し、継続的な成長につながる体制づくりに取り組んでいる。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児休業や介護休業、看護休暇等の制度を導入し、職員が家庭の状況に応じて柔軟に働き続けられる環境づくりに取り組んでいる。ま

		た、急な家庭事情にも対応できるよう、勤務調整や職員間の協力体制の構築を図っている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	子育て・介護等の家庭事情や職員の体調等に配慮した勤務シフトの整備。また非正規職員から正規職員への転換制度を導入している。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の肩よりの解消に取り組んでいる。	定期的に各職員の業務内容の把握等の実施。業務内容のマニュアル化を図ること等により、業務の属人化等の解消を図っている。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務労働者を含む全職員を対象に健康診断およびストレスチェックを実施し、職員の健康状態の把握と早期対応に努めている。また、事業所内には職員が適切に休息を取ることができるよう休憩スペースを確保し、勤務中のリフレッシュや心身の負担軽減につなげている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故・トラブル等が発生した場合、直ちに社内連絡ツールにより全職員に情報共有ができるシステム及びマニュアルを整備している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	定期的な会議を開催し、課題の抽出・明確化、作業の効率化を検討している。
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	5S活動ポスターの掲示と周知の実施。日ごろから職場環境の整備にあたっている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	記録、報告、情報共有など専用のアプリ及び業務支援ソフトを使用し作業負担軽減を行っている。
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	業務支援ソフトを導入している。また各職員1台PCを導入し、作業負担軽減を行っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	毎朝のミーティングで情報共有を行っている。また、定期的に全体会議を開催し勤務環境や支援内容の改善を図っている。

	<p>地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のため、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施</p>	<p>事業所主催のイベント（goat フェス等）を開催し、地域の子どもたちや住民が参加できる場を設けている。これにより、障がいの有無に関わらず自然に関わり合える環境づくりを行っている。</p> <p>また、地域イベントへの参加や外出活動を通じて、地域社会とのつながりを深めるとともに、子どもたちの社会性の向上や職員の支援意欲の向上にもつなげている。</p>
	<p>利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供</p>	<p>職員会議や研修の中で、支援の在り方や倫理観、利用者理解についての確認・共有を行い、日々の支援に反映できるよう取り組んでいる。また、新任職員に対しては、入職時に理念や支援方針についての研修を実施し、支援の基盤となる考え方の統一を図っている。</p>
	<p>支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供</p>	<p>毎朝のミーティング時、終礼時に全職員へ伝わるよう努めている。</p>